

中納言安倍広庭卿の歌一首

三〇二番

児らが家道いへぢ やや間遠まとほきをぬばたまの夜渡よわたる
月につき 競きほひあへむかも

柿本朝臣麻呂、筑紫国に下る時に、

海路うみつぢにして作る歌二首

三〇三番

名なぐはしき 印南いなみの海うみの 沖おきつ波なみ 千重ちへに隠かくりぬ
大和島根やまとしまねは

三〇四番

大君おほきみの 遠とほの朝廷みかどと あり通がよふ 島門しまとを見みれば
神代かみよし思おもほゆ